

2012年3月期 第3四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
取締役社長 小谷 進

2012年2月9日

本日の発表のポイント

1. 2012年3月期第3四半期連結決算実績:

- タイの洪水影響による生産減・販売減のため、売上・利益とも前年同期を下回ったが、社内計画に対してはほぼ予定どおり

2. 2012年3月期連結業績予想:

- 第4四半期の増収・増益により、昨年11月29日に発表した通期業績予想(売上高4,400億円、営業利益110億円、純利益10億円)は変更せず

前回発表(2011年11月29日)時点からの進捗状況

前回発表(11/29) 時点	進捗状況
被災したタイの2工場の操業再開は2012年2月以降	2011年12月下旬から一部、操業再開
課題のキーパーツの調達率が正常化するのは2012年2月以降	2012年1月より、ほぼ正常化した。パーツ価格は上昇
2011年10月下旬に発売を予定していた国内市販カーナビゲーション等の新製品は、12月～2012年1月に発売延期	予定通り、2011年12月～2012年1月にかけて新製品の販売開始
自動車メーカーからの受注見通しは、第4四半期は前年同期比100%以上	自動車メーカーの増産に加え、エコカー補助金の追い風もあり、第4四半期の受注見通しは、社内計画を上振れ
タイの洪水影響(2012年3月期): 売上270億円減(カーエレ200億円減、ホームエレ64億円減、その他6億円減) 営業利益100億円減(カーエレ85億円減、ホームエレ10億円減、その他5億円減)	タイの洪水影響(2012年3月期): 売上270億円減(カーエレ200億円減、ホームエレ64億円減、その他6億円減) 営業利益100億円減(カーエレ95億円減、ホームエレ5億円減、その他 影響なし)
中国、日本、マレーシア、タイのサテライト工場での代替生産開始	予定通り、2011年11月より順次立ち上げたが、従業員の確保や業務習熟等に時間がかかり、計画は若干遅れ気味

本日の説明

1. 2012年3月期 第3四半期連結決算
2. 2012年3月期 第4四半期の取り組み
3. 2012年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性がありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上するユーロ、米ドル、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2012年3月期 第3四半期連結決算

2012年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結業績概要

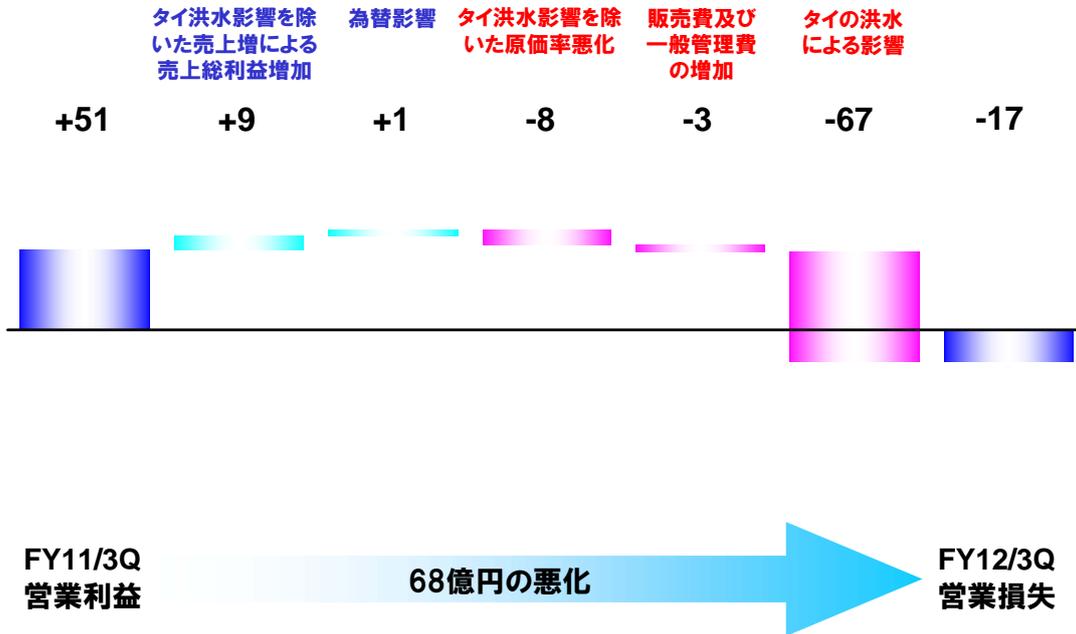
(単位:億円)

	第3四半期			9ヵ月通期			
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比	
売上高	1,018	1,170	87.0%	3,156	3,437	91.8%	
営業損益	-17	51	-	53	117	45.1%	
経常損益	-27	38	-	24	92	26.2%	
当期純損益	-81	27	-	-66	103	-	
為替 平均レート	1USドル	77.41 円	82.64 円	-6.8%	79.01 円	86.85 円	-9.9%
	1ユーロ	104.33 円	112.23 円	-7.6%	110.64 円	113.31 円	-2.4%
1株当たり純利益	-25.16 円	8.31 円	-33.47 円	-20.47 円	32.15 円	-52.62 円	
ROE	-41.3%	12.6%	-53.9%	-10.7%	15.7%	-26.4%	
1株当たり純資産	219.64 円	254.29 円	-34.65 円				
ROA	-10.8%	2.8%	-13.6%	-2.9%	3.6%	-6.5%	

注) 1. 当期の当期純損益には、年金制度移行に伴う終了損失(第3四半期38億円、9ヵ月通期39億円)が含まれております。
2. 前期9ヵ月通期の当期純損益には、旧本社ビルなどの資産売却益62億円が含まれております。

2012年3月期 第3四半期 営業利益増減要因

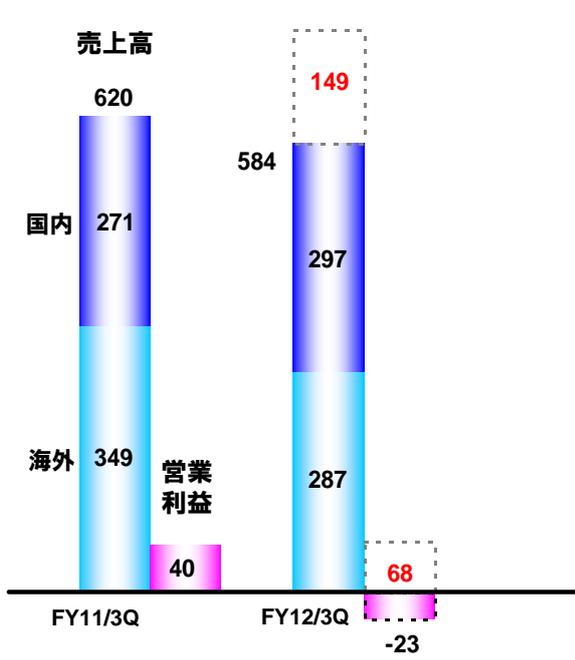
(単位:億円)



セグメント別売上高・営業損益(第3四半期): カーエレクトロニクス

タイの洪水による影響額

(億円)



< 売上高 > OEM比率 49% (前年同期 44%)

対前期	94% (国内 110%、海外 82%)
タイ洪水の影響	149億円の減少
増収要因	OEMカーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ OEMカーオーディオ 市販カーナビゲーションシステム

< 営業損益 >

対前期	62億円の悪化
タイ洪水の影響	68億円の悪化
悪化要因	原価率悪化(-44億円) 売上減による売上総利益減少(-10億円) 販売費及び一般管理費の増加(-9億円)

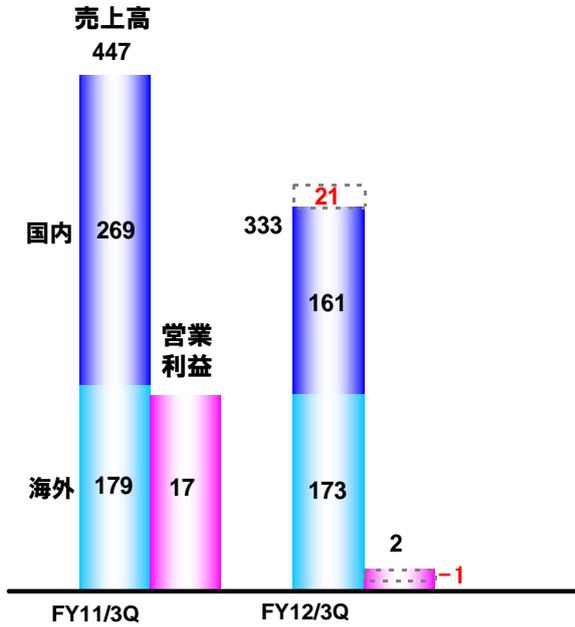
※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カーナビカー

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第3四半期): ホームエレクトロニクス

タイの洪水による影響額

(億円)



< 売上高 >

前年同期比	75% (国内 60%、海外 97%)
タイ洪水の影響	21億円の減少
増収要因	オーディオコンポーネント、AVシステム
減収要因	光ディスク事業、CATV関連機器

< 営業利益 >

前年同期比	15億円の悪化
タイ洪水の影響	1億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+5億円) 原価率の良化(+1億円)
悪化要因	売上減による売上総利益減少(-21億円)

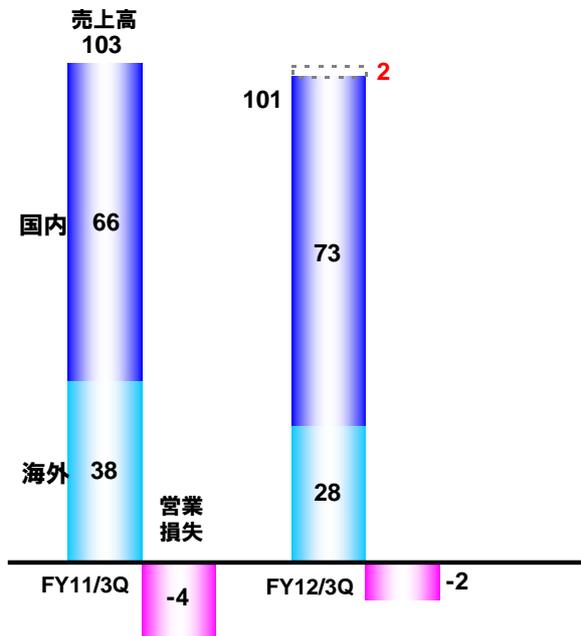
※ 当セグメントに含まれる主要製品:
AVシステム、オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器、
ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、DVDプ
レーヤー、DVDドライブ、AVアクセサリ

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

セグメント別売上高・営業損益(第3四半期): その他

タイの洪水による影響額

(億円)



< 売上高 >

前年同期比	98% (国内 111%、海外 76%)
タイ洪水の影響	2億円の減少
増収要因	地図ソフト、FA機器
減収要因	有機ELディスプレイ、電子部品

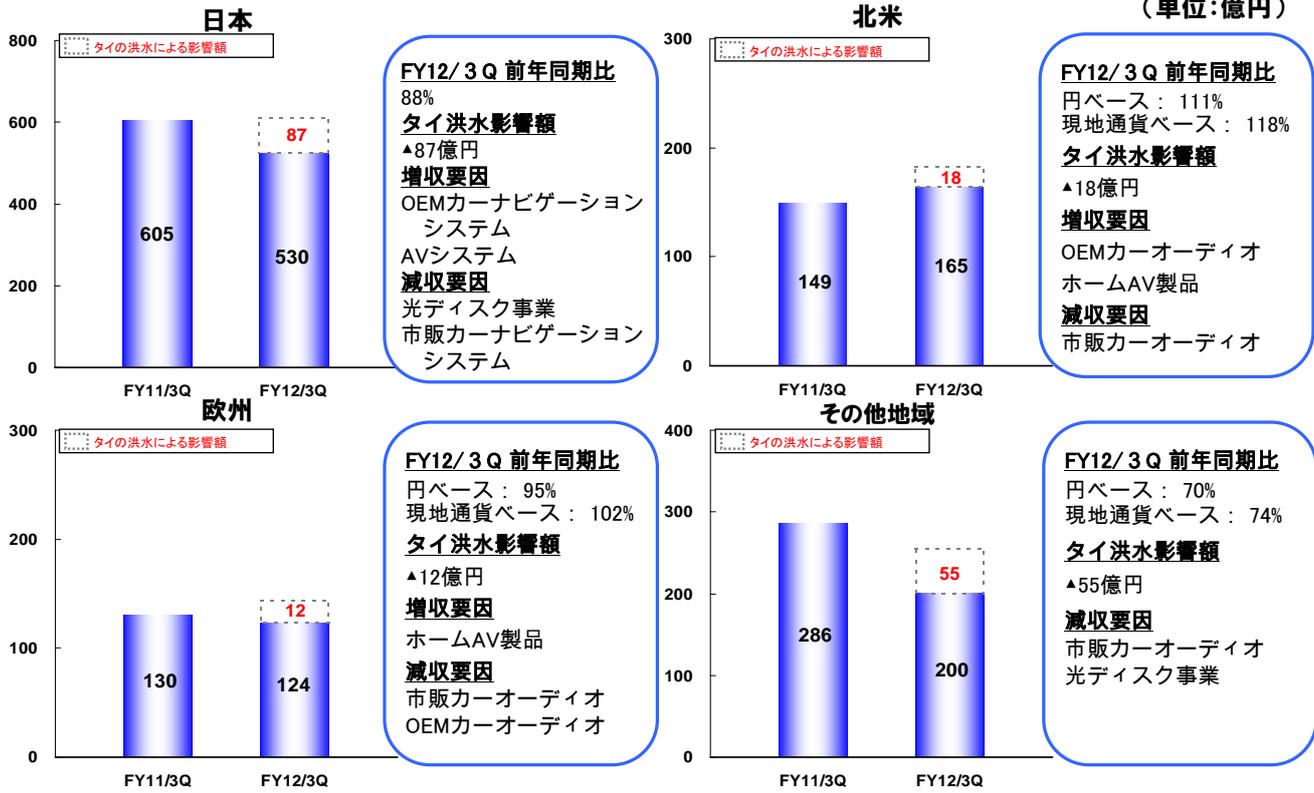
< 営業損失 >

前年同期比	2億円の良化
タイ洪水の影響	影響なし
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+4億円)
悪化要因	原価率の悪化(-2億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
FA機器、スピーカーユニット、電子部品、有機ELディスプレイ、
電話機、業務用AVシステム、地図ソフト、光ディスク関連特許の
使用許諾

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

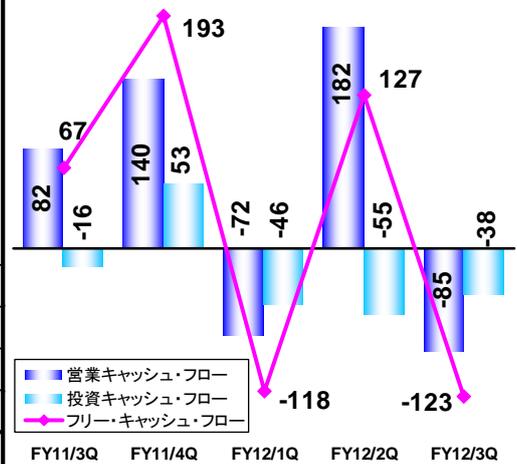
2012年3月期 第3四半期 地域別売上高



2012年3月期 第3四半期・9ヵ月通期 連結キャッシュ・フロー計算書

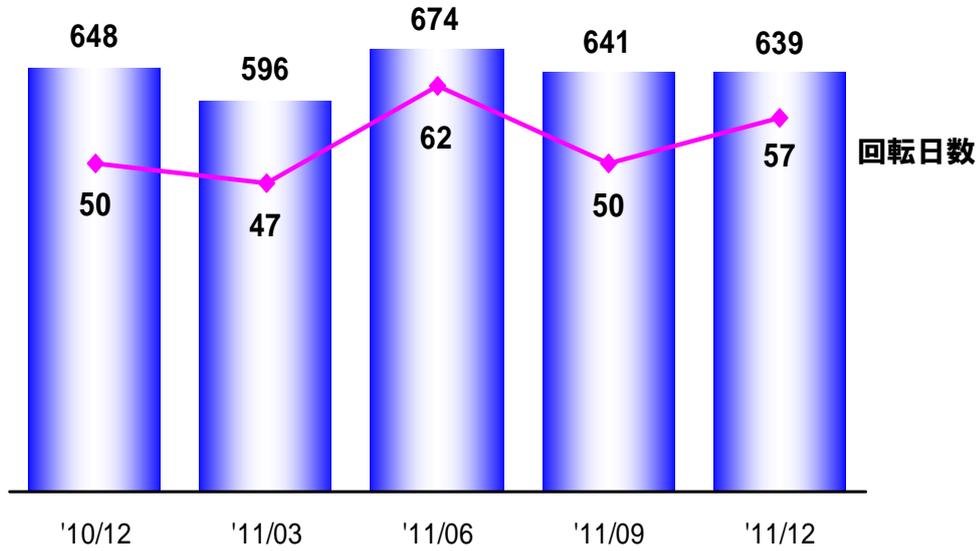
(単位:億円)

	第3四半期		9ヵ月通期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純損益	-69	41	-27	146
減価償却費	61	71	183	232
退職給付引当金の増減	37	1	43	5
固定資産除売却損益	0	-4	7	-51
売上債権の増減	31	12	39	26
棚卸資産の増減	-37	-50	-123	-142
仕入債務の増減	-84	49	-40	132
未払費用の増減	-30	-9	-32	-17
その他	6	-29	-25	-95
営業キャッシュ・フロー	-85	82	25	235
投資キャッシュ・フロー	-38	-16	-139	-14
財務キャッシュ・フロー	-7	-24	58	-65
現金・現金同等物の換算差額	3	-9	-15	-47
フリー・キャッシュ・フロー	-123	67	-114	221
現金・現金同等物の増減	-128	34	-71	108
現金・現金同等物の残高	404	950		
NETキャッシュ残高	-528	-622		



2012年3月期 第3四半期 棚卸資産

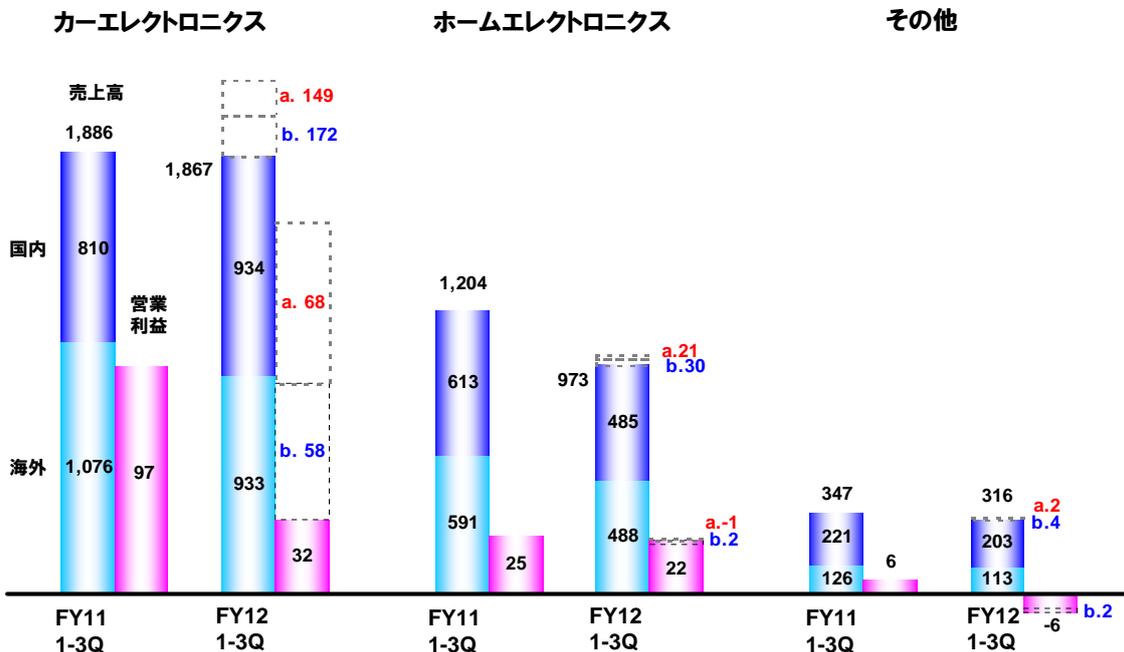
(単位:億円)



2012年3月期 セグメント別売上高・営業損益(9ヵ月通期)

(単位:億円)

- a. タイの洪水による影響額
- b. 震災影響額

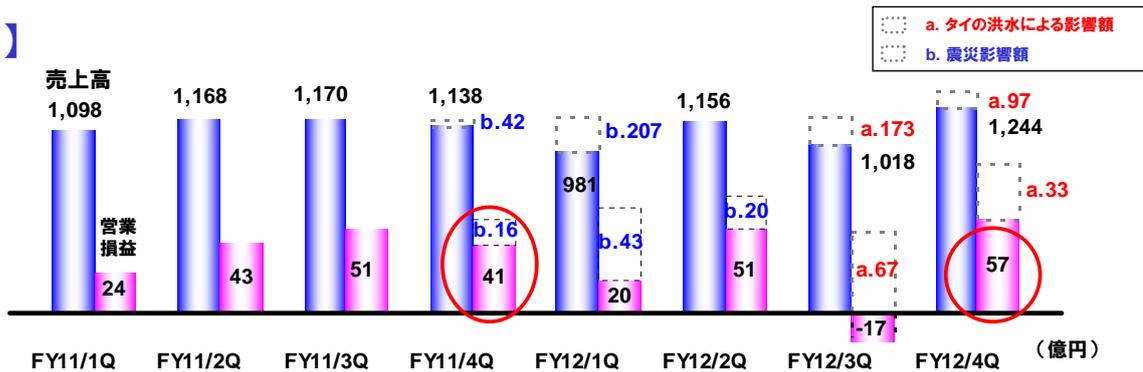


注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

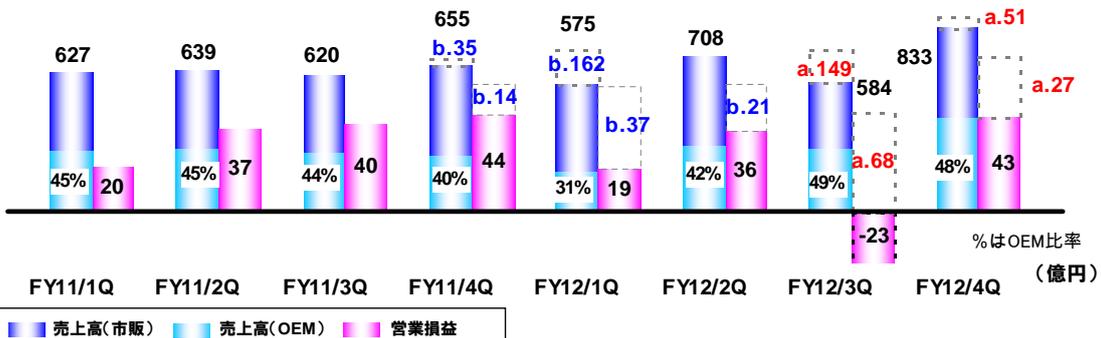
2. 2012年3月期 第4四半期の取り組み

売上・営業損益 四半期推移

【全社】



【カーエレクトロニクス】



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

第4四半期 計画のポイント

【売上】 1,244億円(前年同期比 約9%増)

- (+) カーエレクトロニクスは、自動車メーカーからの受注見通し増により、OEM売上は、前年同期と比べ、約50%アップ。市中在庫がほとんど無い状態の市販市場へは、競争力のある商品供給により、前年同期並みの売上を目指す
- (-) ホームエレクトロニクスは、光ディスクドライブ関連製品の地上デジタル放送移行に伴う前年同期の特需の反動により減少

【営業利益】 57億円(前年同期比 16億円の増)

- (+) 増収による売上総利益の増加
- (-) タイ洪水影響を挽回するため、
 - ・代替生産に伴うコストアップ(生産移管・部品調達変更等に伴う費用)
 - ・市場への迅速な商品供給のための販売コストアップ(物流経費等)

3. 2012年3月期 連結業績予想

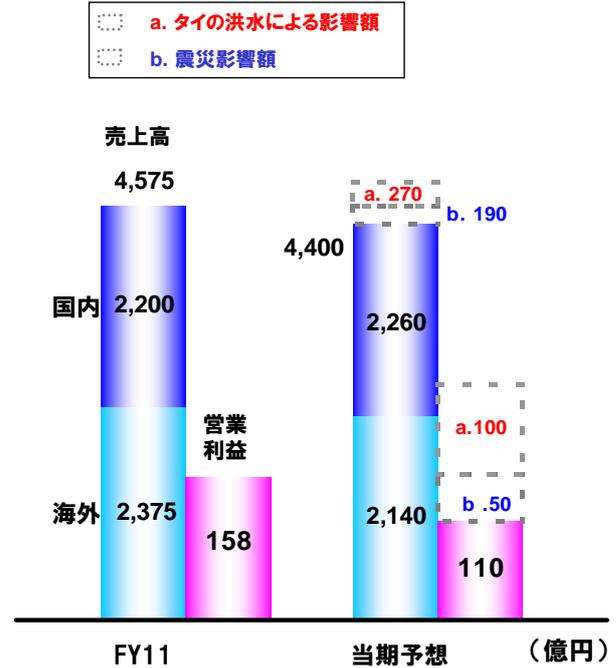
2012年3月期 通期連結業績予想

(単位:億円)

	当期予想	前期実績	前期比
売上高	4,400	4,575	96.2%
営業利益	110	158	69.6%
経常利益	75	123	61.0%
当期純利益	10	104	9.7%

		当期予想	前期実績
為替前提 レート	1USドル	75円	85.72円
	1ユーロ	100円	113.12円

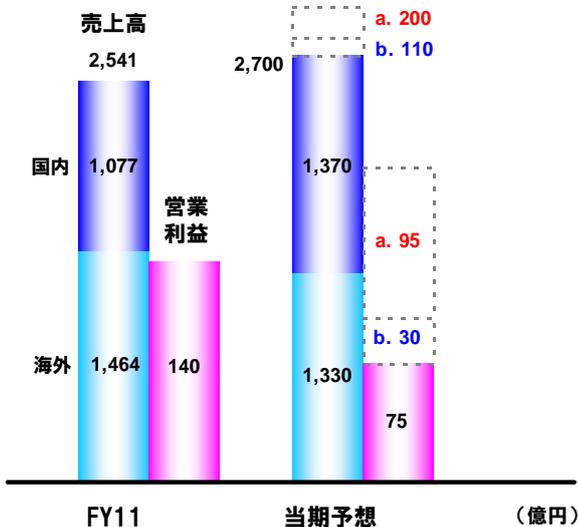
	当期予想	前期実績
1株当たり純利益	3.11円	32.24円
ROE	1.2%	12.0%
1株当たり純資産	240.25円	264.78円
ROA	0.3%	3.0%



注) 1. 当期純利益は、前期には、旧本社ビルなどの資産売却益を含んでおります。当期は、退職給付制度の一部を確定拠出年金制度へ移行することに伴い、移行部分に相当する退職給付債務の未認識部分を一括償却するため、特別損失を見込んでいます。
2. 1円の円高インパクト(残り3ヵ月)は、売上高では、US\$は、▲5.6億円、€は、▲1.3億円、営業利益では、US\$は、0.9億円(良化)、€は、▲0.9億円。

2012年3月期予想: カーエレクトロニクス

○ a. タイの洪水による影響額
○ b. 震災影響額



< 売上高 > OEM比率 43% (前期 43%)

対前期	106% (国内 127%、海外 91%)
震災の影響	110億円の減少
タイ洪水の影響	200億円の減少
増収要因	市販カーナビゲーションシステム OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

対前期	65億円の悪化
震災の影響	30億円の悪化
タイ洪水の影響	95億円の悪化
良化要因	売上増による売上総利益増加(+39億円)
悪化要因	原価率悪化(-59億円) 販売費及び一般管理費の増加(-45億円)

< 出荷台数 >

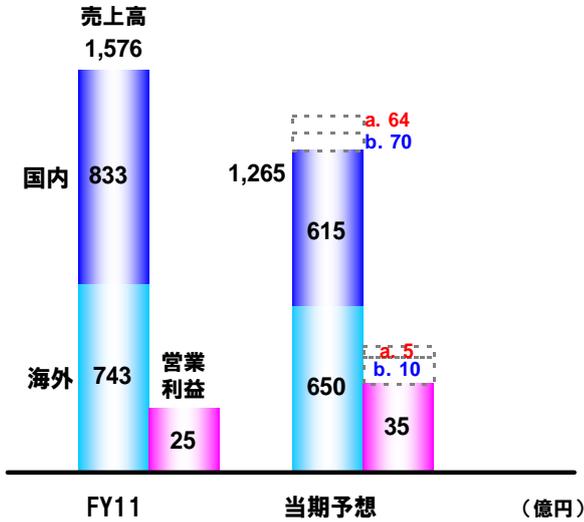
(単位:千台)

	FY11	当期予想
市販カーナビ	730	960
市販カーCD	6,600	7,150

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2012年3月期予想: ホームエレクトロニクス

○ a. タイの洪水による影響額
 ○ b. 震災影響額



< 売上高 >

対前期	80% (国内 74%、海外 87%)
震災の影響	70億円の減少
タイ洪水の影響	64億円の減少
増収要因	ホームAV製品、DJ機器、AVアクセサリ
減収要因	光ディスク事業、CATV関連機器

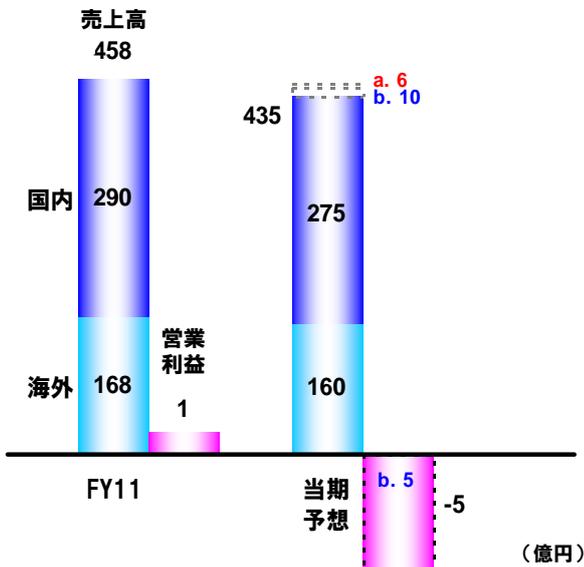
< 営業利益 >

対前期	10億円の良化
震災の影響	10億円の悪化
タイ洪水の影響	5億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+42億円) コストダウンによる原価率良化(+21億円)
悪化要因	売上減による売上総利益減少(-53億円)

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2012年3月期予想: その他

○ a. タイの洪水による影響額
 ○ b. 震災影響額



< 売上高 >

対前期	95% (国内 95%、海外 95%)
震災の影響	10億円の減少
タイ洪水の影響	6億円の減少
増収要因	FA機器、特許料収入
減収要因	電子部品、携帯電話用スピーカーユニット

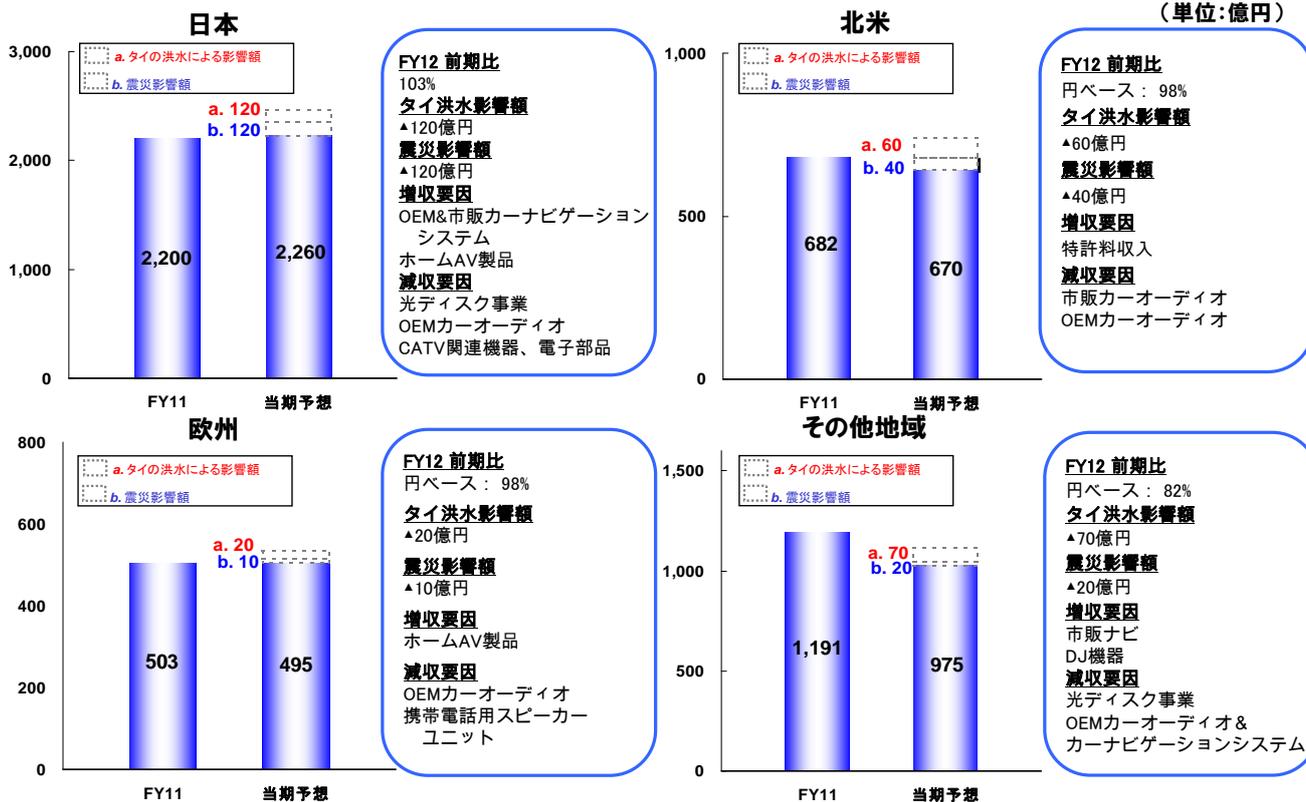
< 営業損益 >

対前期	6億円の悪化
震災の影響	5億円の悪化
タイ洪水の影響	なし
良化要因	特許料収入
悪化要因	電子部品

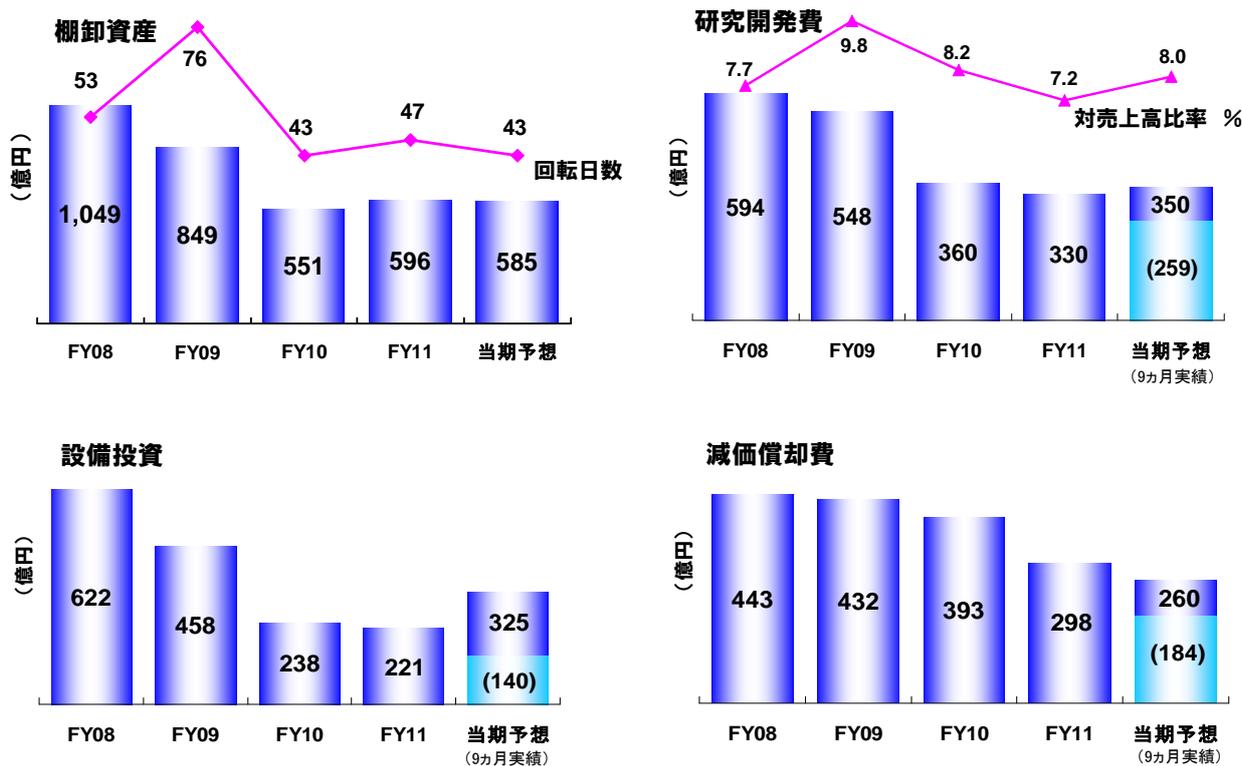
注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2012年3月期予想：地域別売上高

(単位:億円)



2012年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費



2012年3月期予想： キャッシュフローおよび財務指標

【キャッシュ・フロー】

(単位:億円)

	FY09	FY10	FY11	当期予想
営業キャッシュ・フロー	-616	80	375	265
投資キャッシュ・フロー	-383	-84	39	-320
財務キャッシュ・フロー	858	218	-742	5
フリー・キャッシュ・フロー	-999	-5	413	-55

【財務指標】

	FY09	FY10	FY11	当期予想
純 資 産	1,118	907	885	810
自 己 資 本 比 率	25.8%	22.4%	27.4%	25.0%
ネット有利子負債	1,154	738	403	465
D/E 比 率	1.6倍	1.9倍	1.0倍	1.1倍
現 金 及 び 預 金	637	902	476	410

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。
 2. D/E 比率=有利子負債÷(純資産-少数株主持分)